

福島県沖のアカムツについて

令和3年8月13日

福島県水産海洋研究センター 海洋漁業部



図1 着底トロール調査で採捕されたアカムツ（小型個体）



図2 市場に並ぶアカムツ

アカムツ (*Doederleinia berycoides*) は通称「ノドグロ」とよばれ、日本周辺からオーストラリアに至る海域の水深60~600mに生息するとされています¹⁾。福島県所属の調査指導船「いわき丸」の着底トロール調査では主に水深100~175mで採捕されています。

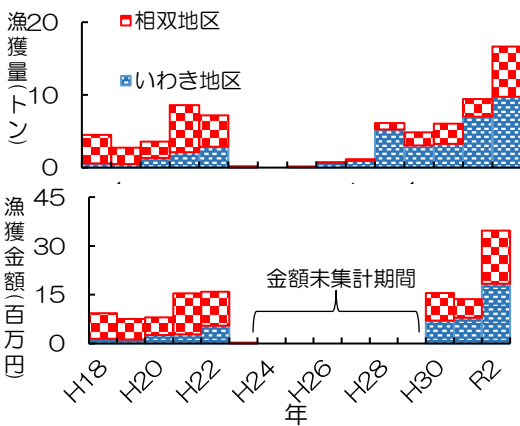


図3 アカムツ水揚げ量・金額（全県・全漁法）

近年福島県の底びき網漁業でのアカムツの水揚げ量・金額は増加傾向にあり、令和2年の水揚げ量・金額は19トン・3,600万円です（図3）。

「いわき丸」による着底トロール調査では、近年分布密度が増加傾向にあり、令和2年の同調査でも全長10cm以下の個体が採捕されていることから、今年以降での漁獲加入が期待されます（図4、5）。さらに、令和2年10月には放卵間近のメスの大型個体が採捕されており、来遊資源と考えられていたアカムツが福島県沖で再生産している可能性があります。

福島県沖合に生息するアカムツは生態等の知見が少ないことから、当センターでは引き続き調査を行っていきます。

【引用文献】

1) 中坊徹次, 2013. 日本産魚類検索 全種の同定第三版 I. p.751

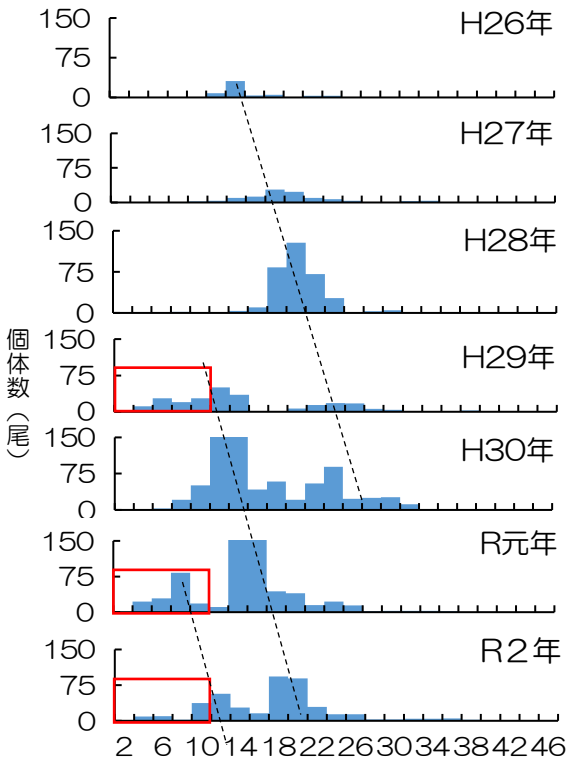


図4 調査船調査でのアカムツ全長組成

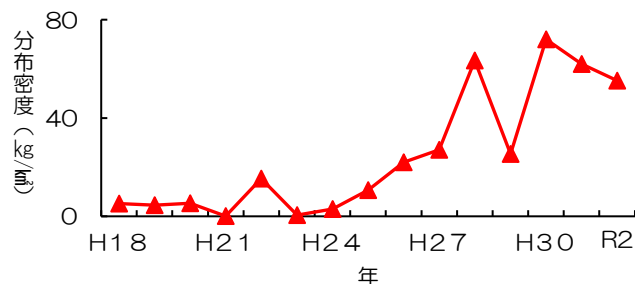


図5 調査船調査でのアカムツ分布密度